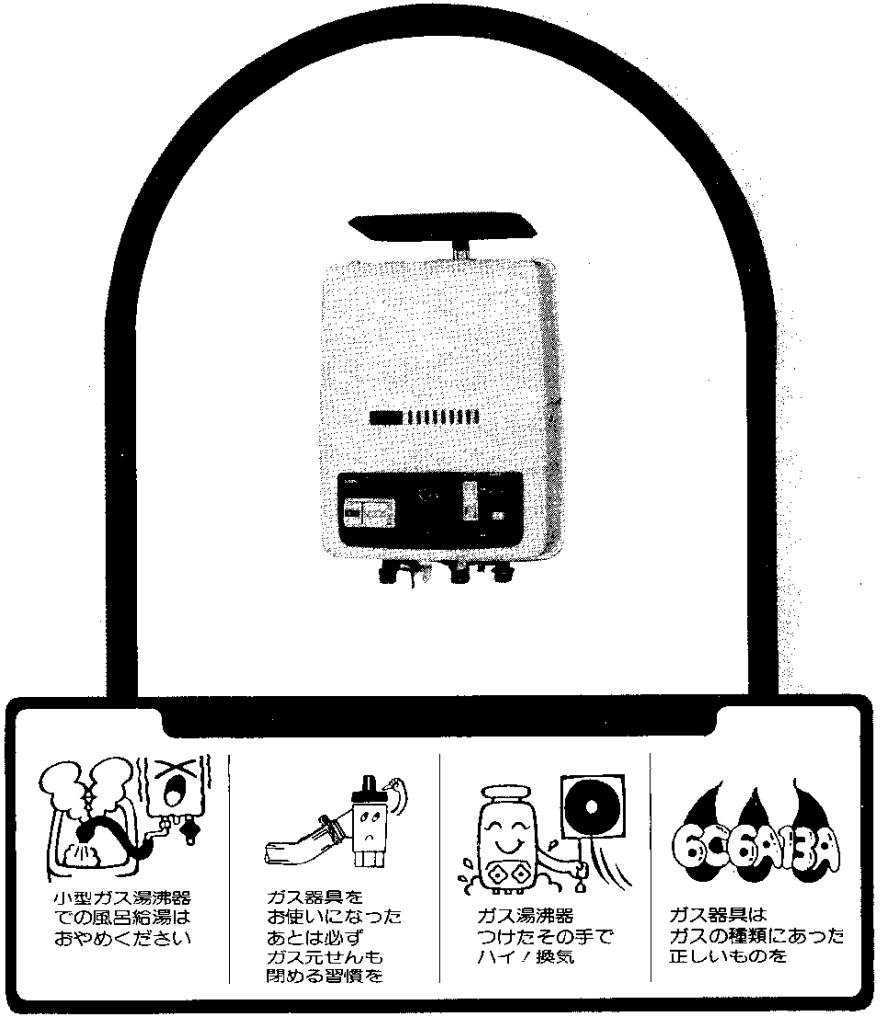
大阪ガス

ガス湯沸器〈瞬間先止め式〉
取扱説明書 33-802型（換気扇連動式）

保証書付

法定型式・S5-16型



小型ガス湯沸器での風呂給湯はおやめください

ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を

ガス湯沸器つけたその手でハイ！換気

ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの店にお問い合わせください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大 阪 06 (202) 2221
南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪 06 (652) 0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06 (301) 1251
堺 支 社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎ 堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高 槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西 宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京 都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29−1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草 津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根 0749(22) 3131
（長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長 浜 07496(2) 7171）

その他サービスショップ

大阪ガス株式会社

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求めいただきありがとうございました。

この湯沸器は**瞬間先止式**ですから給湯配管ができます。たとえばお台所にこの湯沸器を取り付けておいて洗面所などで給湯せんを操作するだけで、必要なだけのお湯が使えます。

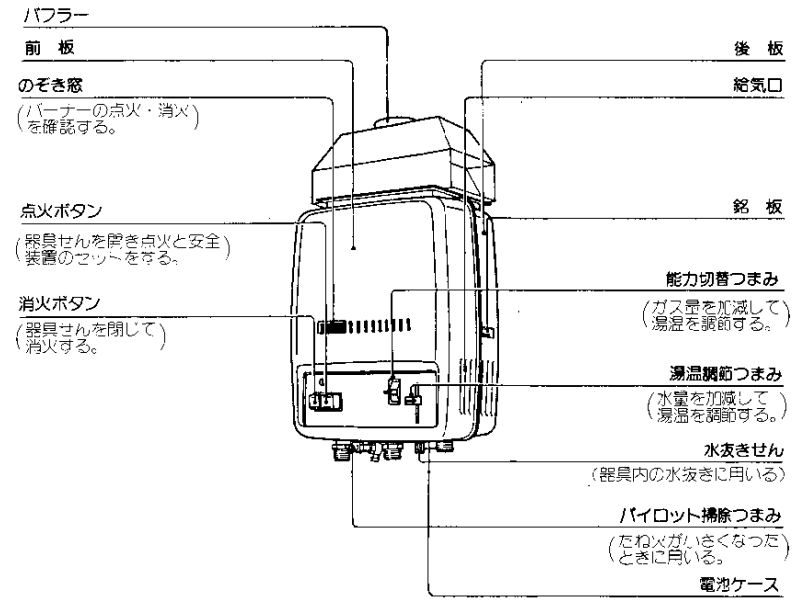
ご使用前にこの取扱説明書と別冊の工事説明書をよくお読みのうえ、別添の保証書とともに大切に保管してください。

目　次

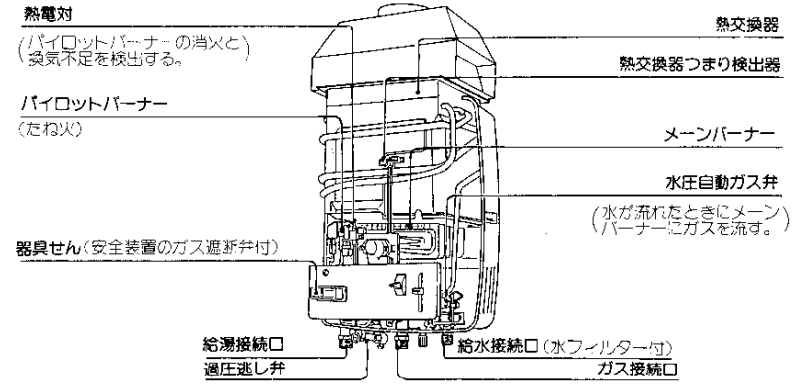
- 各部の名称と働き…… 2
- 特に注意していただきたいこと…… 3
- 使用方法…… 6
- 長期間使用しない場合…… 10
- 安全装置が作動したときの処置方法…… 10
- 日常の点検・手入れ…… 11
- 故障・異常の見分け方と処置方法…… 13
- アフターサービス…… 14
- 仕様…… 15
- 器具の設置…… 16

各部の名称と働き

外観



構造（前板を外したところ）



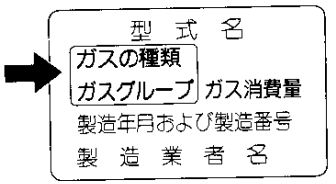
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● 器具(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。
銘板は器具右側面下にはっています。
ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

(銘　板)

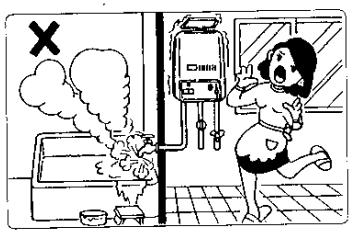


器具の設置について

●器具の設置はお買い上げの店に依頼してください。
正しく設置されているか、3～4ページの「設置場所についてのご注意」と16～18ページの「器具の設置」にしたがって確認してください。

用途についてのご注意

●この湯沸器では、ふろへ給湯しないでください。
長時間使用で換気不足から不完全燃焼をおこし危険です。

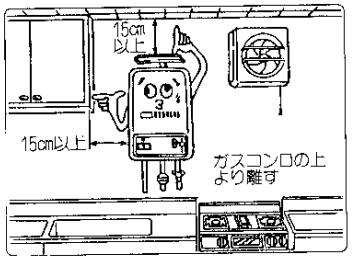


設置場所についてのご注意

❶ 換気(給気や排気)が十分にできるところに設置してください。
❷ 浴室へは絶対に設置しないでください。
❸ 屋外へは設置しないでください。
雨や風のため火が消えたり、冬期には凍結で器具が破損することがあります。
❹ 強い風の吹き込む所や冷暖房装置の吹き出し口近くには設置しないでください。

特に注意していただきたいこと②

❺ 家具・壁その他可燃物から十分に離して設置してください。
❻ ガスレンジやこんろなど燃焼器具の上には設置しないでください。
廃ガスや調理物の蒸気、油などにより、不完全燃焼や、故障の原因になります。
また不完全燃焼防止装置が作動することがあります。



❼ 美容院、クリーニング店、工場など特殊薬品（アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）を使用する場所には設置しないでください。
特殊薬品は器具の損傷や熱交換器のつまりによる不完全燃焼の原因となります。
❽ ガソリン、ベンジン等、引火性危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。

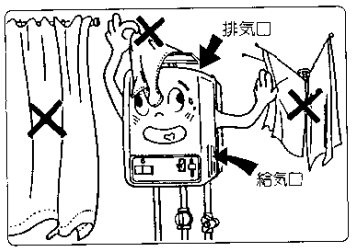
使用上のご注意

1.ガス漏れ予防

使用後は消火ボタンを押し(器具せんが閉じます)、消火したことを確かめてください。
お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんも閉じてください。

2.火災予防

❶ 器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
❷ タオルやふきんなどを器具の排気口の上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないでください。
❸ 棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
火をつけたままでのお出かけや、おやすみは絶対にしないでください。



特に注意していただきたいこと③

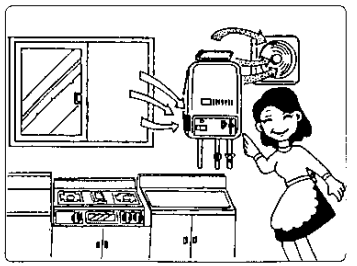
3.やけどのご注意

❶器具があつくなりますので、操作ボタン・つまみ以外には触れないでください。
❷出湯するときは最初に熱いお湯が出ることがありますので、ご注意ください。
❸混合水せん又はシャワーを使用中は他の給湯せんと同時使用しますと湯温の急激な変化がおこりますので、同時使用はしないでください。

4.飲用にお使いのとき

器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

5.換気のご注意



❶使用と同時に換気扇が回ります。給気に十分ご注意ください。
（自動的に換気扇を回す「換気扇連動スイッチ」(別売)を利用してください。）
❷換気せずに連続10分以上使用しないでください。特に冷暖房中は換気にご注意ください。
閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少して不完全燃焼を起こします。(不完全燃焼防止装置が作動する場合があります。)

6.ガス事故防止

❶ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を開けてガスを外へ出してから、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
❷ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇など電気器具のスイッチの入・切や電源プラグの抜きさしをしないでください。
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

7.異常時の処置

あわてずに消火ボタンを押し(器具せんを閉じ)、ガス元せんを閉じてください。

8.凍結についてのご注意

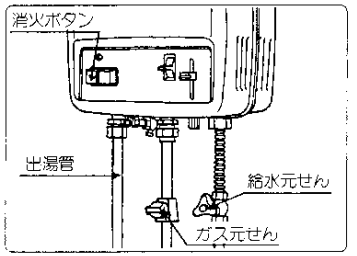
冬期、器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために水抜きをしてください。(詳しくは8ページ「凍結防止」をご覧ください。)

9.日常の点検・手入れ

❶日常の点検・手入れをしてください。(詳しくは11ページをご覧ください。)
❷故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
不完全な修理は危険です。お買上げの店にご相談ください。

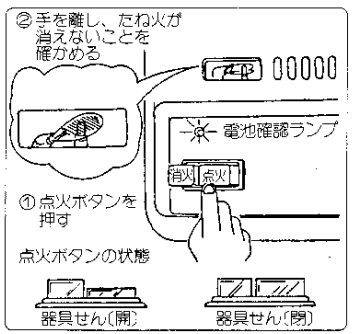
使用方法

点火前の準備と確認



❶ガス元せんを閉じた状態で給水元せんを開き、次に給湯せんを開き水の出ることを確かめてください。
確認したら再び給湯せんを止し、水を止めてください。
❷消火を確認して（または消火ボタンを押して）から、ガス元せんを全開にしてください。

点火

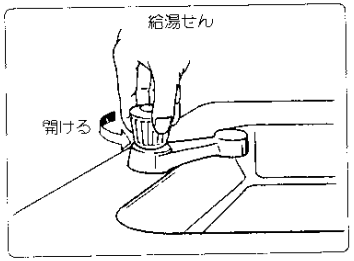


❶点火ボタンを止まるまでいっぱい押してください。
電池確認ランプが点灯し、「パチパチ」と連続放電して、パイロットバーナー(たね火)に点火します。
❷点火してから手を離し、パイロットバーナー(たね火)が消火しないことを確かめてください。
器具せんが開き、安全装置がセットされます。

〈ご注意〉
❶給湯せんを開にすると(水を流す)と点火ボタンは押せません。
❷朝一番など点火しないときは、しばらく点火ボタンを押し続けてください。
長く時間をおいてご使用になるときは配管などに空気が入ることがあります。
❸手を離してたね火が消えるときは点火後も約15秒、点火ボタンを押し続けてください。
❹点火操作後、たね火が消えた状態では給湯せんを開かないでください。
水を流すと一時的にメーンバーナーより生ガスが出ます。このあとしばらく(約1分)は点火操作を行わないでください。

❺点火ボタンを押したとき電池確認ランプが光らなくなれば、新しい電池に交換してください。（詳しくは12ページ「電池交換のしかた」をご覧ください。）

出湯（出湯停止）



1.出湯

給湯せんを開いてください。

メーンバーナーに着火して給湯せんからお湯が出ます。

使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまで、しばらくお湯は出ません。

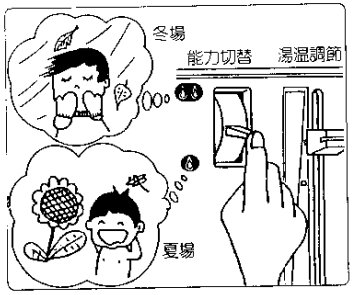
2.出湯停止

給湯せんをしめてください。

お湯が止まり、メーンバーナーが消火します。

〈ご注意〉
- たね火がついているのを確かめてから給湯せんを開いてください。
- 給湯せんを極端に絞ると、メーンバーナーの炎が消えて水が出てきます。
- 湯温調節は湯沸器本体の湯温調節つまみと能力切替つまみで操作してください。
- 出湯するときは、一時的ですが前に出ていたお湯より熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯にはご注意ください。

能力切替



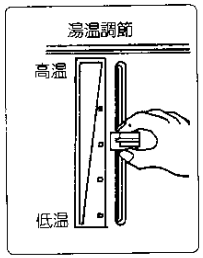
❶冬や高温水が必要なときは能力切替つまみを〔🔥🔥〕印に合わせてください。

❷夏、水温が高くお湯が熱すぎるときは〔🔥〕印に合わせてください。

能力切替つまみを〔🔥〕印に合わすとガス量は約70%になります。

少量でお湯を使うときには能力切替を〔🔥〕にして、湯温（湯量）調節で加減してください。

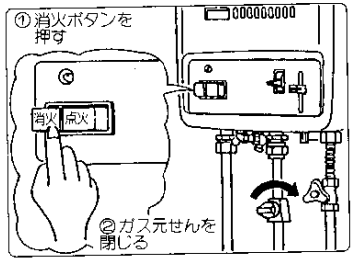
湯温（湯量）調節



湯温調節つまみを〔低温〕から〔高温〕お好みの温度に合わせてお使いください。

湯量は〔高温〕にするほど少なくなり、〔低温〕にするほど多くなります。能力切替との組み合わせにより、適切な湯温（湯量）調節を行なってください。

消火



❶消火ボタンを押してください。

器具せんが閉じ、パイロットバーナー（たね火）が消火します。

❷ガス元せんも閉じてください。

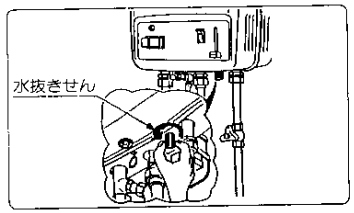
凍結防止

冬、取付場所の温度が氷点下になるときは凍結のおそれがありますので、水抜きもしくは給湯せんから水を流し放しにするなどの凍結防止処置を行なってください。

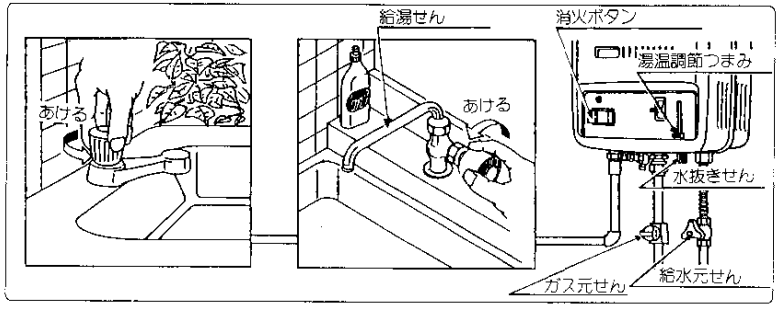
1.器具の中の水を抜く場合

次の手順で器具内の水抜きを行ってください。

①消火ボタンを押す。
②ガス元せんを閉じる。
③給水元せんを閉める。
④湯温調節つまみを〔低温〕にする。
⑤給湯せんを開にする。
⑥水抜きせんを左に回して開ける。



使用方法④



次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。
再度ご使用になるときは、水抜きせんを閉めてから給水元せんを開き、給湯せんから水が出ることを確かめてください。

2.給湯せんから水を少量流し続ける場合

次の手順で行ってください。

①消火ボタンを押す。
②ガス元せんを閉じる。
③湯温調節つまみを〔低温〕にする。
④給湯せんを開にし、少量の水を流し放しにする。
1分間に牛乳びん1本程度、ただし特に寒い日は多目にしてください。
また、流量が不安定なことがありますので、30分ぐらい後にもう一度ご確認ください。

3.凍結したとき

❶凍結したときは、器具に異常が生じる場合があります。凍結が解けたあと、水漏れや作動に異常がないか、注意してご使用ください。
❷器具や配管が破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

長期間使用しない場合

❶ガス元せんを閉じ、水抜きを行なってください。
❷電池を電池ケースより抜いてください。
乾電池の液漏れにより器具をいためることがあります。

安全装置が作動したときの処置方法

器具を使用中消火し、給湯せんより水が出てきた場合、次の方法もしくは13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがい処置してください。

パイロット安全装置

❶パイロットバーナー(たね火)が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
❷たね火の消火に気づいたときは、すぐに消火ボタンを押し、給湯せんを止じてください。
安全装置が作動するまで約1分かかります。この間に給湯せんを開くと一時的に生ガスが流出します。

《ご注意》
❶点火操作は消火ボタンを押した後給湯せんを止じ、しばらく(約1分)待ってから行ってください。

不完全燃焼防止装置

❶湯沸器が不完全燃焼するような状態(部屋の換気不足や熱交換器のつまりなど)になってきますと、安全装置が働らいて自動的にガスが止まります。
❷消火に気づいたときは、すぐに部屋の換気を行なってください。
消火ボタンを押し、給湯せんも止じてください。

過熱焼損防止装置

●湯沸器を使用中、熱交換器の温度が異常に上昇した場合、自動的にガスが止まります。
消火ボタンを押し、給湯せんも止じてください。

◎再度点火操作をしても消火する場合、使用中たびたび消火する場合は、お買い上げの店に点検を依頼してください。

日常の点検・手入れ

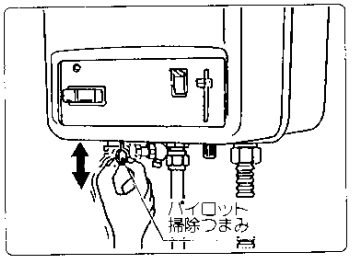
点検

❶ 配管接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。

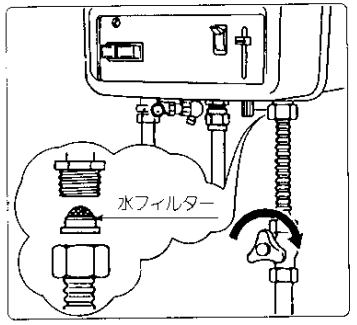
❷ 熱交換器のつまりやバーナー部のつまりはありませんか。
不完全燃焼の原因になりますので、半年に一度程度は前板を外して点検してください。(前板の外し方は次のページをご覧ください。)
熱交換器(排気口の内側)やバーナー部に白い粉やすすなどのつまりがあるときは、お買い上げの店に掃除を依頼してください。(有料)

❸ 使用中、不快なにおいがしたり、炎に不ぞろいなどの異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの店にご連絡ください。

❹ パイロットバーナーの掃除方法
パイロットバーナー(たね火)が小さくなっているときは、パイロット掃除つまみを数回下へ引いてください。
メーンバーナーへ着火するときに大きな音がしたり、安全装置が作動してガスが止まる原因になります。



❺ 水フィルターの掃除方法
水フィルターにゴミや砂がたまると、湯量が減ったりまたメーンバーナーに着火しなくなる場合があります。
次の手順で掃除してください。
①給水元せんを閉める。
②工具で給水接続管を外し、水フィルターを引き出し掃除をする。
③配管内のゴミを流してから、元どおりに取り付ける。



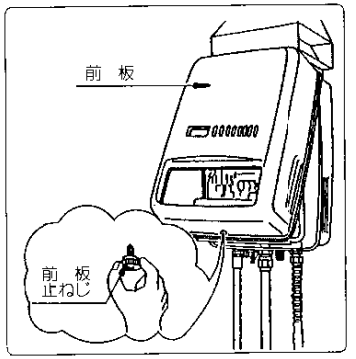
手入れ

1.手入れ
器具外側の汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。
金属たわし、スポンジたわし・みがき粉、シンナーなどは使用しないでください。

《ご注意》
手入れは、ガス元せん、給水元せんを閉めて、器具が十分に冷えてから行なってください。

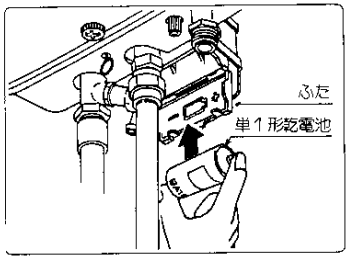
2.前板の外し方
❶ 次の手順で外してください。
①前板下面中央の前板止めねじを外す。
②前板の下部を少し持ち上げるように手前に引いて外す。
❷ 取り付けは前板の上部左右を引っ掛けて、元どおりにしてください。

《ご注意》
器具の内部は分解しないでください。



電池交換のしかた

❶ 点火ボタンを押したときに、電池確認ランプが光らなくなれば、新しい電池に取り替えてください。
❷ 電池ケースのふたを開けて新しい電池と入れ替えてください。
電池は単1形乾電池(SUM-1/1.5V)です。
電池の入れ方には方向があります。
右が⊕側で左が⊖側です。



故障・異常の見分け方と処置方法

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちに使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象／原因	パイロットバーナーに点火しない	点火ボタンより手を放すと消火する	使用中にすべて消火する	給湯せんを開いても着火しない。	爆発的に着火する	黄炎で燃える・すすがでる	炎が異常・不快なにおいがする	異常な音をたてて燃える	高温の湯が出ない	湯温調節を「低温」にしても熱い	「低温」にすると着火しない・消える	お湯を止めても消火しない	処置方法	使用者	お買い上げ店・大阪ガス
ガス元せんの開け忘れ	●												消火ボタンを押してからガス元せんを全開にする	○	
ガス元せんの開き不十分			●		●				●						
配管内に空気が入っている・残っている	●												点火するまで、点火ボタンを押し続ける	○	
ガス圧が適切でない			●		●				●				点検を依頼する		○
給水せんの開け忘れ				●									給水元せんを開ける	○	
器具の水フィルターがつまっている				●							●		水フィルターを掃除する 11ページ参照	○	
水圧が適切でない				●							●		点検を依頼する		○
点火操作が適切でない	●	●											「使用方法 点火」6ページ参照	○	
能力切替・湯温調節の操作が適切でない									●	●			「使用方法 能力切替 湯温調節」7~8ページ参照	○	
完全に消えない間に再着火させる								●					一度お湯を止めて、5秒ほど待って再出湯する	○	
換気不足							●						使用中は必らず換気する	○	
安全装置の作動			●										「安全装置が作動したときの処置方法」10ページ参照	○	
電池が消耗している	●	●											電池を取り替える 12ページ参照	○	
パイロットバーナーのノズルつまり		●	●		●								パイロット掃除つまみを引っぱる 11ページ参照	○	
バーナー部のつまり						●	●	●					点検・掃除を依頼する		○
熱交換器のつまり						●	●								
点火装置の故障	●												点検・修理を依頼する		○
器具せんの故障	●	●	●												
水圧自動ガス弁の故障				●					●	●		●			

アフターサービス

サービス(点検・修理)のお申し込み

❶前のページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。

❷確認のうえそれでも不具合な場合、あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

❸アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。

(1)品　名……ガス湯沸器(瞬間先止め式)

(2)品　番……33-802型(ラベルを左側面下部にはっています。)

(例)

(3)現　象……できるだけ詳しく

保証書について

●この湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。なお、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、詳しくは保証書をご覧ください。

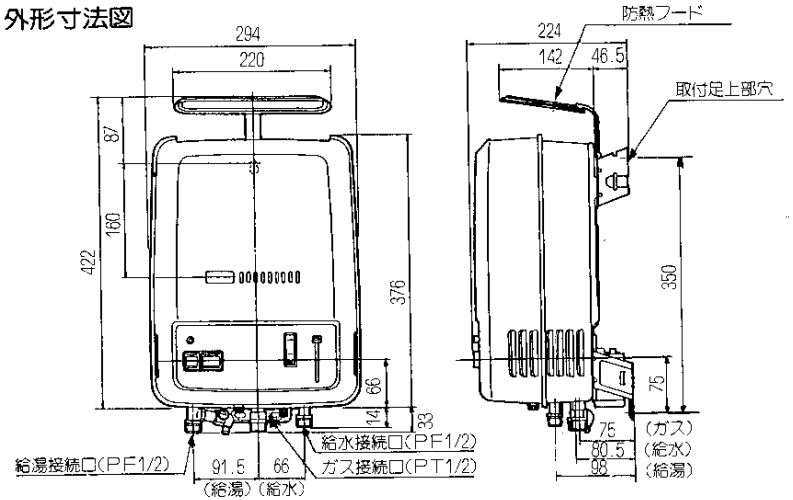
転居される場合

❶ガスの種類には都市ガスとＬＰガスがあり、都市ガスには14のガスグループの区分があります。ガスの種類およびガスグループの異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。
このときの調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

❷ガスの種類およびガスグループの異なる地域へ転居される場合は、転居先のガスを確認の上、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。

仕　様

外形寸法図



仕様一覧表

項目＼型式		33−802型
種類	給湯方式	瞬間先止め式
	給排気方式	開放式
外形寸法		高さ409mm×幅294mm×奥行224mm
重量		6.5kg
接続	ガス	都市ガス／LPガス　15A(PT1/2)　TU接続可能
	給水	15A(PF1/2)
	給湯	15A(PF1/2)
ガス消費量		都市ガス…… 9,900kcal/h　LPガス…… 0.81kg/h
出湯能力	25℃上昇	5.0ℓ/min
	40℃上昇	3.1ℓ/min
作動水圧		0.5kg/㎠
点火方式		連続放電点火式
安全装置		パイロット安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱焼損防止装置・過圧逃し弁
付属部品		防熱フード(取付脚付)・木ねじ(3本) 過圧逃し弁排水用ビニールチューブ・湯出口パッキン・止め輪

器具の設置

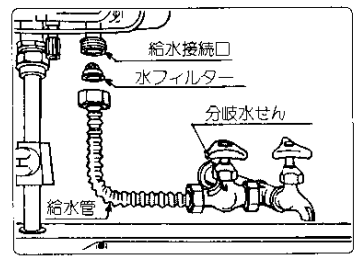
器具の設置について

❶ 器具の設置はお買求めの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
❷ 正しく設置されているか確認してください。
（詳しくは別冊の工事説明書をお読みください。）
❸ 給湯配管は脱酸銅管をご使用ください。
熱および水圧が加わりますので鉛管および塩化ビニール管は使用しないでください。

給水配管工事

❶ 配管工事は給水事業者の指定工事店で、規定に従って行ってください。
❷ 給水圧力は0.5kg/㎠(6ℓ/min通水時)以上必要としますので、十分な給水能力を確保してください。
この湯沸器は水圧を利用してガス弁の自動開閉を行ないます。
❸ 水道側には給水元せんまたは分岐水せんを取り付けてください。
❹ 器具の給水接続口へ給水管を接続してください。
給水管には市販の金属フレキ管も利用できます。

《ご注意》
❶ 給水接続口に水フィルターが挿入されていることを確かめてください。
❷ 器具に接続する前に配管内のゴミ・砂・シール材などを水で流してから接続してください。



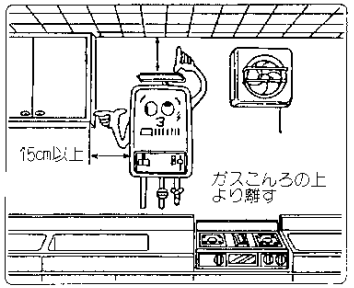
ガス配管工事

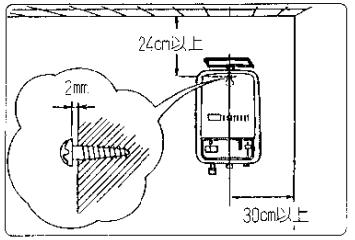
❶ ガス工事は大阪ガスにご相談ください。
❷ 器具を設置する場所に専用のガス元せんがない場合、あっても位置や口径などが適切でない場合は、新設または交換する必要があります。
❸ 金属管、金属可とう管または継手付強化ガスホース配管することができます。

器具の取り付け

1.湯沸器の取り付け

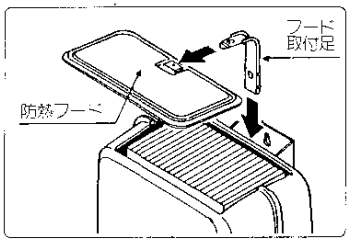
❶取り付け高さはのぞき窓を目の高さにすると使いやすくなります。
❷防熱フードを取り付けて天井から15cm以上離してください。
❸両側面は家具や壁より15cm以上離してください。
❹次の手順で取り付けてください。
①木ねじを天井より24cm以上、家具や壁より30cm以上離した位置に、ねじ込みしろ2mmを残して取り付ける。
（取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。）
②木ねじに取付脚上部穴を引掛ける。
③湯沸器をまっすぐにして取付脚下部穴2か所を木ねじで締め付ける。





2.部品の取り付け

❶防熱フードを取り付けてください。
①防熱フードに取付脚を差し込む。
②取付脚を後板へ差し込む。
❷単1形乾電池を電池ケースへ入れてください。
電池の入れ方は12ページ「電池交換のしかた」をご覧ください。



換気扇連動スイッチの設置

●室内の換気をより確実に行なうために、便利な換気扇連動スイッチの設置をお勧めします。
換気扇連動スイッチは別売していますので、お買上げの店にご相談ください。

定期点検のすすめ

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して末永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。
一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。
お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社にご連絡ください。